

事務事業名	八田地区かき・まいもん朝市開催事業		所属部局	市民部		単位番号	4130																									
			所属課室	八田窓口サービスセンター		課長名	センター長西野秀一																									
	☐ 実施計画事業		所属担当			担当者名	中 澤 学																									
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目																								
政 策	04	国際交流・地域間交流の推進	事業区分	01	一般	02	01	12																								
施策	06	交流活動の推進		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度 ☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度			法令根拠																												
事業の内容・概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 南アルプス市と石川県穴水町と特産物を通じ姉妹交流を行う。年間2回の交流事業を開催する。①毎年9月穴水町において開催する事業(市及び八田地区の特産品のぶどう、ワイン、ジャム等販売を行うほか、特産品の試食やPR活動を行う。②毎年12月八田地区において、穴水町の特産品の販売やPRを行う、「かき・まいもん朝市」事業を開催する。生の牡蠣の販売や炭火で焼いて食べるコーナーの催しや、海産物販売を通じて市民との交流を行う。		事業費の主な内訳 (22年度) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>186</td> <td>役務費</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>329</td> <td>委託料</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>食糧費</td> <td>34</td> <td>機械及び車輛借上</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>リース料</td> <td>399</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>1,542</td> </tr> </tbody> </table>						項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	旅費	186	役務費	33	消耗品	329	委託料	216	食糧費	34	機械及び車輛借上	345			リース料	399			計	1,542
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																													
旅費	186	役務費	33																													
消耗品	329	委託料	216																													
食糧費	34	機械及び車輛借上	345																													
		リース料	399																													
		計	1,542																													

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績 ①穴水町での特産品交流開催9月4日(土)一泊②かき・まいもん朝市開催12月12日(日)ハッピーパーク会場 23年度活動予定 ①穴水町での特産品交流開催9月4日(土)一泊②かき・まいもん朝市開催12月12日(日)ハッピーパーク会場
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	穴水町民及び南アルプス市民及び両地域の特産物
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	穴水町民及び南アルプス市民の交流をきっかけに人の交流や両地域の特産物の交流に結びつける。
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けられるのか)	行政主導から市民が主導となり、自主的に企画立案による姉妹交流につなげる。

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 穴水町物産交流経費	円
	イ かき・まいもん朝市経費	円
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 穴水町物産交流集客数	人
	イ かき・まいもん朝市集客数	人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 交流を行っている団体数	件
	イ 交流を行っている人数	人
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 市民の主導による開催の有無	有無

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,475	1,542	1,509	1,509	1,509	
	事業費計 (A)		千円	1,475	1,542	1,509	1,509	1,509	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	180	180	180	180	180	
		人件費計 (B)	千円	803	803	713	713	713	0
	(A)+(B)		千円	2,278	2,345	2,222	2,222	2,222	0
活動指標		ア	円	767,000.0	800,000.0	800,000.0	800,000.0	800,000.0	
		イ	円	709,000.0	800,000.0	835,000.0	835,000.0	835,000.0	
対象指標		ア	人	550.0	550.0	550.0	600.0	600.0	
		イ	人	800.0	800.0	850.0	850.0	900.0	
成果指標		ア	件	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
		イ	人	30.0	30.0	35.0	40.0	40.0	
上位成果指標		ア	有無						
		イ							

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成5年6月旧八田村と石川県穴水町の姉妹提携が行われた。以後市合併により平成16年10月新たに締結が行われた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	市民に広くPRがされ、12月に開催するかき・まいもん朝市は好評である。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	市民による自主開催に向け行政が働きかけを行う方向で検討をしている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	市民による自主運営の働きかけを行う検討を行ってきたが、上層部において行政が主体となり開催するよう指示があった。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	八田地区かき・まいもん朝市開催事業	所属部	市民部	所属課	八田窓口サービスセンター
-------	-------------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由 ↓] この事業で穴水町の特産品を市民にPR、販売により来客数も年々増加し施策である交流活動の推進に貢献している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 妥当である ⇒ [理由 ↓] 民間、公共機関等に委ねることは可能。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由 ↓] 対象と意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由 ↓] 交流事業として行政 (支所業務) の業務であるが、農産物など地域の特産物を扱う事業であるので、関係者民間団体等に委ねて事業開催することで向上を図る。上位目的に結びつけるため再度、民間主導の方向で検討が必要と思う。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入 ↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない ⇒ [理由 ↓] ☐ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容 ↓] 姉妹町村との兼ね合いにより影響はある。 ☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由 ↓]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 住民主体の方向に進めば削減余地はある。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由 ↓] 現状では職員1名が主に業務を行うため、削減は出来ない。民間に委ねることで削減が可能
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案 ↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由 ↓] 市内にPRを行っているので公平。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	姉妹町村としての交流事業であり、今後も引き続き継続実施が望ましい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☒ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☒	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①農産物など地域の特産物を扱う事業であるので、民間による事業開催が望ましいと思う。																								
②今後は、農産交流以外の交流に転換する検討も良いのではないかな。																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①上位目的に結びつけるため再度、民間主導の方向で検討が必要があると思われる。		成果優先度評価結果	⑧																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	③																					